

海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2018年第4四半期（10月～12月）分）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 一般犯罪

ドバイ警察によると、スマート・ゾーン・プロジェクトを導入しているムラカバット警察署管内では、2018年（10月現在）において、重要凶悪事件は、2017年の25件から1件に減少した。また、同管内では、顔画像照合カメラを通じて、109人の指名手配被疑者、441人の犯罪容疑者を逮捕した。

シャルジャ警察によると、2018年中のシャルジャ首長国内における警察への緊急通報は、140万件を超え、2017年の約92万2,000件と比べて33%増加した。同警察によると、通報件数の増加の要因の一つは、人口の増加である。

(2) テロ

特記事項なし。

(3) デモ・騒擾等

特記事項なし。

(4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

(5) 日本人に対する犯罪

○ ドバイ首長国（12月21日発生）

バル・ドバイ警察署管内において、男は、ショッピング・モール内を歩いていた日本人男性に道を尋ね、同男性が屋外路上まで同行の上案内したところ、突然、隙を突いてズボンポケットに所持していた現金等在中の財布を窃取して、逃走した。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

○ ドバイ首長国（10月1日発生）

ジュベル・アリ地区の労働者共同住宅において、パキスタン人の男は、同居人のインド人男性と騒音トラブルを原因として口論となり、同男性を刃物で複数回刺して殺害した。

(2) 強姦・強制わいせつ

○ ドバイ首長国（10月6日発生）

アル・マンザー公園において、アジア人の無職の男は、パキスタン人女性に対して、行政官を名乗り、進入禁止場所に入っていたことを理由として罰金の支払とIDの提示を求め、警察へ連行する旨を告げて、暗がりに連れて行き、怒鳴りつけて頭を繰り返し殴るなどした上、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（10月20日発生）

バル・ドバイ警察署管内のメトロ駅構内において、インド人の建設労働者の男は、徒歩通

行中の少女に近付き、無理矢理身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（10月27日発生）

ドバイのアパートにおいて、アラブ人の写真家の男は、住宅の移転に関する話合いのため欧州人女性の自宅を訪問した際、同女性を脅迫した上、強姦した。

○ ドバイ首長国（11月14日発生）

ラシディーヤ警察署管内において、パキスタン人のスクールバス運転手の男は、バス内で一人になったアラブ人女兒に対して、抱き付いて無理矢理キスをするなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国（11月14日発生）

ジュベル・アリ警察署管内において、パキスタン人の会社員の男は、フィリピン人女性と夕食後、同女性をカフェに誘って車に乗せて、そのまま遠方の砂漠地帯まで連れて行き、車内で同女性を殴るなどした上、強姦した。

○ ラアス・ル・ハイマ首長国（12月19日報道）

ラアス・ル・ハイマにおいて、アジア人の男は、深夜、一般住宅に窓から侵入し、寝室で就寝中の女性を強姦しようとしたが、同女性が助けを呼ぶなどして抵抗したため、その目的を遂げることができず、逃走した。

(3) 強盗

○ シャルジャ首長国（11月5日報道）

サジャ工業地帯の路上において、アジア人の男3名は、道を尋ねるふりをして自転車に乗って通行中の男性を止めて、突然刃物を突き付けて脅した上、所持していた現金1万ディルハム在中の財布を強取した。

○ ドバイ首長国（11月20日発生）

ナイフ地区の路上において、アジア人の男は、徒歩通行中のアジア人男性の行く手を遮って、殴るなどした上、同男性から現金等在中の財布を強取した。

○ フジャイラ首長国（11月28日報道）

フジャイラ首長国において、アフリカ人の男4名は、共謀して、営業時間中の両替店に押し入り、殺すなどと従業員を脅した上、現金7万ディルハムを強取した。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。